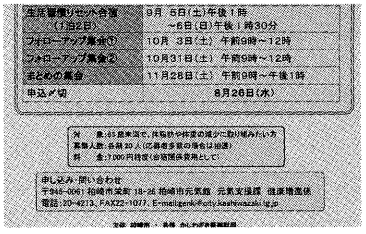
柏崎日報
発行所　柏崎日報社
柏崎市西本町1丁目6-1
〒945-0066　電話22-3121
専売所 柏洋社　電話22-3443
1部110円　1カ月2,725円

町内会の
防災用品
株式会社
イヅミ総業
柏崎市下方982番地1
(0257) 24-4817㈹

からだ☆リフォーム第11期

3カ月で「なりたい私」に

生活習慣見直し合宿　市が9月から



生活習慣リセット合宿（1泊2日）	9月 5日(土)午後1時 ～6日(日)午後1時30分
フォローアップ集会①	10月 3日(土) 午前9時～12時
フォローアップ集会②	10月31日(土) 午前9時～12時
まとめの集会	11月28日(土) 午前9時～午後1時
申込み〆切	8月26日(水)

対　象：40歳以上で、内臓脂肪や体重の減少に取り組みたい方
募集人数：各回20人（応募者多数の場合は抽選）
費　用：7,000円程度（合宿関係費用として）

申し込み・問い合わせ
〒945-0061 柏崎市諏訪1町26 柏崎市元気館 元気支援課 健康増進班
電話：23-4213、FAX22-1077、E-mail:genki@city.kashiwazaki.lg.jp

市では生活習慣病予防のために、市民一人ひとりが自らの健康状態を正しく知り、日常の食事や運動など生活習慣の改善に取り組めるよう支援することや、取り組みやすい環境づくりが求められる中で、第4次総合計画の重点プロジェクトの一つに「健康みらいプロジェクト」を掲げる。

「からだ☆リフォーム計画」はその一環。市民自らが自身の健康課題を抽出し、個々の健康目標、食事や運動の行動目標を宣言し、実践継続を支援するプログラムだ。2014年度の結果では、参加42人の平均で体重が3・1キロ、体脂肪量が2・0キロ、腹囲が4・1センチのそれぞれ減。参加者からは「衣類のサイズがダウンした」「膝の曲げ伸ばしが楽になった」「薬が減った（なくなった）」などの声がある。

9月5・6日の生活習慣リセット合宿後は、10月3日にフォローアップ集会の第1回、10月31日に第2回を、11月28日にまとめの集会を予定する。対象は市内在住の65歳未満で体脂肪や体重の減少に取り組みたい人で、募集は20人。料金は7千円程度（合宿関係費用）。希望者は住所、氏名、生年月日、電話番号を電話、ファクス、電子メールで元気支援課健康増進班（電話20・4213、ファクス22・1077、メールgenki@city.kashiwazaki.lg.jp）へ。応募者多数の場合は抽選。

本年度はこの後、11月に12期の合宿を行う計画。

「からだ☆リフォーム計画」の11期生を募集する

チラシ

新成人の門出祝う

刈羽村の成人式がお盆

生み出していくかが仕事だ。これからは子どもの立場とは全く変わる。立派な大人と言われる行動を心がけてほしい」と述べた。

日を大切に過ごしてほしい」とし、「強さと優しさ」をはなむけの言葉に贈った。

新成人代表の安沢颯矢さ

善の努力をすること、周りの人たちに『笑顔』を与えられるような立派な社会人になりたい」と力強く誓った。

次女の晴れ姿に「あっという間の20年間。立派に成長してくれた。専門学校で看護職を目指しており、頑張ってもらいたい」、小林と

障害者就労支援で市内初のA型事業

田塚1、ウィズユー

市内初の障害者就労継続支援A型事業を行う株式会社ウィズユー（小林俊介社長）が田塚1の新潟アパタイト柏崎工場内に設立され、9月1日から事業を開始する。新潟アパタイト（本社・上越市）は小林社長の父が1988年に創業した会社で、主な業務は部品の検査・組み立て・梱包など。創業以来、障害者の就労や実習に力を入れており、今回のA型事業開始に当たり柏崎工場を別法人のウィズユーとして独立させた。

A型事業は、障害者と雇用契約を結んで安定収入を保障しながら、通常の事業所へ就労移行するステップとしても活用できる福祉サービスの一つ。市内の福祉作業所などで行っているB型事業と比べ、A型では最低賃金（時給）が保障され、利用者の手取りが大幅に増える。半面、採算が厳しくなるため市内にはこれまでA型事業所がなかった。市福祉課では「雇用契約を締結する安定的な就労継続支援の提供が利用者から望まれていた」とウィズユーの設立を歓迎している。

市の障害者福祉推進会議のメンバーでもある小林社長は「一歩先行く障害福祉で、地域貢献とビジネスを両立させる」を経営理念に掲げる。本年度と来年度にかけて特別支援学校などから障害者20人の雇用を予定し、仕事量確保のため新たな取引先の開拓にも力を入れる。障害者を作業のスペシャリストに育てることで一般企業への就労を進め、これにより障害者雇用率の向上に役立ちたいと張り切っている。

早大が地域フォーラム

柏崎で来月5日　総長講演など

早稲田大学の「地域交流フォーラムin新潟」が9月5日、市内鯨波のメトロポリタン松島で開かれる。柏崎で12年ぶりとなる早大校友会県大会の中での開催。鎌田薫・早大総長の講演や国指定重要無形民俗文化財・綾子舞の上演がある。一般公開で、多くの人の来場を呼び掛け中だ。入場無料。

地域交流フォーラムは大学側が校友会県支部との共催で行う。第1部が正午から午後3時までで、大学案内・説明会と在学生の父母懇談会など。3時から5時15分までの第2部で鎌田総長の講演「早稲田大学のめざすもの」に続いて、綾子舞上演と、鳥越文蔵・早大名誉教授による「柏崎の芸能―綾子舞を中心に」の講演。問い合わせは、柏崎刈羽地区の早大校友会である柏崎稲門会の事務局（桜井さん、電話21・3155）または早大教務部教務課（電話03・3204・2253）へ。

校友会県大会には県下か

柏崎抄

▲人

リニュ

計画し

立博物

協議会

人とし

行に同

2日間で首都圏に

施設4館を訪れた

のような大規模施

く、柏崎の身の丈

規模で参考になっ

の視察には、県世

録推進室の吉田博

立歴史博物館学芸

浩二さんの専門

し、懇談の席では

の恩恵を受けた▲

館の人文系のリニ

は30年ほどの同館

でも初めてとなる

検討委員会も立ち

018年の夏ごろ

ールオープンを

意欲がなくなるなど

話すことで心を軽

らい、今後のこと

考えようというも

は心の悩みごとの

家族、知り合い。

精神保健相談員、

相談は無料。申し

前に電話で元気支

相談係（電話20・4

へ。フォンジェ「

こころ」でも同様

できる。

◆「こころ」の相談会を19・20日に

市は19日午前10時から正午、20日午後2時から4時まで、いずれも元気館で「ゆったり『こころ』の相談会」を開く。眠りが浅い、遅刻や欠勤が増えた、働く